

クラス会だより・色染昭53 (2010.12.30)

お化け レモン

平成22年12月30日に色染53年卒の年末恒例の同窓会が、南森町、大阪天満宮の近くにあるスナック、キーストーンにて開催された。同会は、毎年、12月30日に同場所をマスターのご好意により、貸切にて使用させていただいている。

当初は、二年に一度の開催であったが、皆の要望で、毎年開催するようになって、十数回を数える。多い年は、15人を超える参加者があったが、近年は、転勤で遠方へ転居したり、海外への出向者もあり、7人から8人程度の参加者に減数し、寂しい限りである。中には、静岡県浜松市へ転居したにもかかわらず、年末のあわただしい時に、この会の出席のためだけに、わざわざ新幹線とんぼ返りする女性もいる。皆出席の紅一点、西村女史(旧姓 梶原千佳子さん)である。この会は、毎回、夕方4時に乾杯にて開始し、9時過ぎにお開きとなる。

なんと、5時間以上、しゃべり続けるのである。料理は、飲み放題付のてっちり鍋セットである。普段はこのお店のメニューにはないのであるが、マスターがわざわざ黒門市場へふぐを仕入れに行ってくれる。参加費はお一人様1万円から1万2000円也(毎年の黒門市場のふぐの相場で変動)。



(同窓会風景)

左より 伊山 長井 西村 藤村 前田 角 高橋

今回のトピックスは、なんとと言ってもお化けレモンである。参加者の角君(公衆浴場経営)が、お土産として皆にひとつずつくれた巨大レモンである。ひとつの大きさは、ソフトボール2、3個分ほどあり、たしかにレモンの香りがする。

角君の話によると、自家栽培して出来たレモンだそうで、毎年、年末に、自身が経営するお風呂に浮かべて、お客様にレモン風呂として、レモンの香りをサービスしているそうである。



(お化けレモン)

左より お化けレモン お化け柚子

角君の弁によると、普通のレモンと同じように食べられるということなので、筆者は早速、家内に頼んで、その皮をマーマレードにしてもらった。最初の一口目は、なかなかいけると思ったのだが、なんと口の中に苦味が延々と残り、牛乳で洗浄するも、ついに食べるのを放棄せざるをえなくなった。食べられるというよりも、食べても死なないと言った方が良く、香りと姿だけを楽しめばよかったと後悔している。ただ、酸っぱいけど食べられたよという報告もあるので、ロットぶれがあるのかもしれない。角君の話では、お化け柚子も栽培しているそうで、来年は、お化け柚子をお土産にくれるそうである。

最後に、昭和 53 年色染工芸学科卒業の皆さんへ、毎年、定例の忘年会を兼ねた同窓会をやっていますので、ぜひ、参加してください。

連絡先 qyw12752@nifty.ne.jp 長井(幹事) まで

(色染 昭53・高橋伸和)